

# 国道289号針生の災害対応について

～早期復旧と冬期間の安心安全な交通確保のために～



福島県南会津建設事務所管理課  
技師 江口 東吾

施工場所: 南会津郡南会津町針生字駒戸山地内

## 1. 概 要

■平成27年9月9日～9月11日に関東・東北地方を襲った異常降雨(針生観測所 281mm/日)により、南会津郡南会津町駒戸山地内において、延長約26mにわたり盛土法面が崩落し、国道289号が通行止めとなった。(迂回路である国道352号も被災により通行止となつた)



## 2. 経緯・課題

### ■経緯

平成27年 9月10日	駒戸山地内で法面崩落発生 国道289号通行止め
9月11日	応急工事着手(大型土のう積)
9月13日	応急工事完了 交通開放(片側交互通行規制)
11月25日	第5次災害査定実施
11月27日	道路災害復旧工事契約
12月7日～12月25日	仮設土留工施工



### ■課題

国道289号は緊急輸送路第1次確保路線であり、南会津の東部西部を結ぶ重要路線(いのちの道路)である。また、豪雪地帯かつ縦断勾配が急であることから降雪や路面の凍結による交通事故が心配される。そのため地元住民の生活や安心安全な交通確保のために早期の復旧が求められている。



応急工事施工状況



大型土のう積完了



片側交通規制状況

### 3. 内容

【工事費】 約97百万円  
(うち応急工事費 約9.7百万円)

#### 【主な工種】

- ・コンクリート法枠ブロック工 A=484.4m<sup>2</sup>
- ・アスファルト舗装工 A=239.1m<sup>2</sup>
- ・U型側溝工 L=258.0m (再度被災防止として提案)
- ・仮道工 L=150.0m

### 4. 進捗状況・創意工夫など

■盛土施工に先立ち、脆弱な崩落土砂を撤去する必要があるため、12月25日までに親杭鋼矢板による土留め工を完了させ、現道の崩落防止及び安全な道路幅員確保を図った。

※換算N値300を超える硬い岩盤の現場条件であるため、特殊な工法のダウンザホールハンマー工法を採用した。また、片側1車線を確保しながらの作業となるため、作業半径の小さい特殊なクローラ型の機械を使用した。



【ダウンザホールハンマー工法】



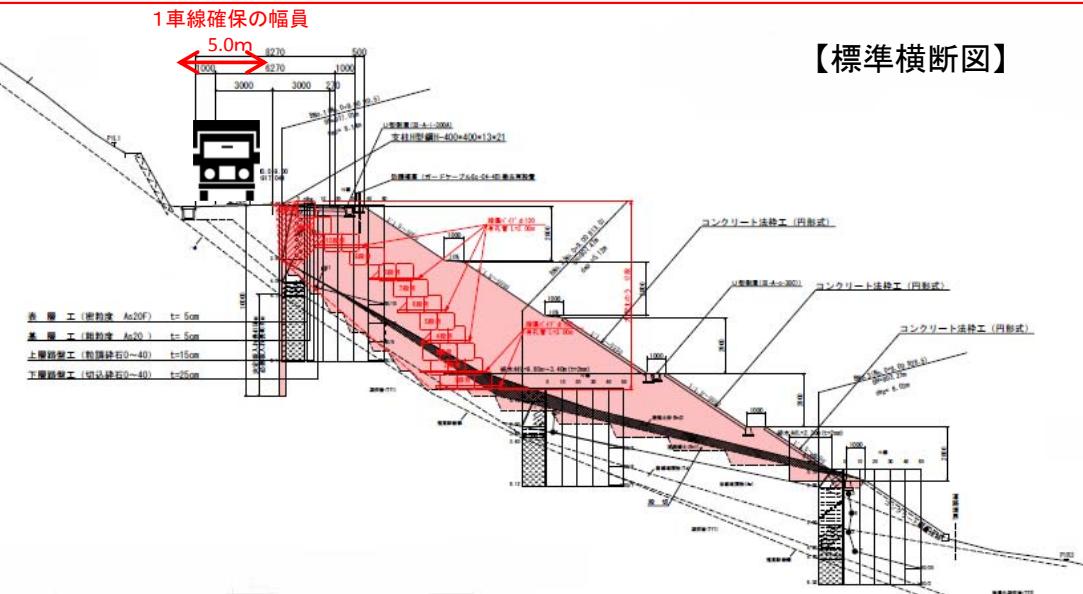
【H型鋼の打ち込み】



【安全な幅員の確保】



【横矢板設置】



### 冬期交通対策

■冬期間の交通規制に伴う交通事故を未然に防ぐため施工業者、除雪業者、建設事務所間で綿密な協議を行った。

#### 「協議の内容と対策」

- ・激しい縦断勾配によるスリップ事故と車両スタック防止の検討
  - 交通規制の停止位置を比較的平坦かつ見通しが良い箇所に設置
  - 停止位置付近に砂箱を設置
- ・狭小幅員の解消と除雪作業の充実
  - 仮設土留工の早期完了と側溝の暗渠化による幅員の確保
  - 除雪ドーザ予備車両の常駐
- ・着雪や積雪により工事規制看板が不可視になる可能性
  - 工事看板や信号に足をつけて高くし、着雪対策としてのぼり旗を併用し注意喚起をする



【工事看板の積雪への対策】



【側溝の暗渠化による幅員の確保】



【砂の凍結対策として土のう袋をビニール袋に入れ保管】

### 5. おわりに

・災害発生から交通開放に向けて尽力いただいた関係各者の皆様へ感謝申し上げます。  
今後は、冬期間の安心安全な道路交通の確保とともに、早急な道路復旧を目指し無事故で工事を完了できるよう取り組んでいきたいと思います。